

大分市報

発行所 大分市役所
編集兼発行人 大分市役所代表者 幸村昭

合併五周年を迎えて

大分市長 安東 玉彦



市民のみならず、わが大分市は合併五周年を迎えました。この三月十日で合併後五周年を迎えることになりました。ふりかえりてみますと、この五年間はまことに短いようで、また大変な五年間であったように感じられます。おかげでその後、

一般会計歳入歳出予算および決算額

年度別	歳入		歳出	
	予算現額	決算額	予算現額	決算額
38年	2,792,339	2,784,448	2,792,339	2,728,960
39年	3,335,823	3,289,232	3,335,823	3,203,154
40年	4,183,869	4,162,732	4,183,869	4,111,713
41年	4,622,314	4,628,319	4,622,314	4,530,837
42年	5,111,513	-	5,111,513	-

統計資料から見る五年のあゆみ

学校施設整備状況

年度	施設整備学校数	事業費
	38年度	18校
39	17	171,214
40	26	269,754
41	29	203,594
42	22	364,825

人口の推移

年度	昭和38年	昭和39年	昭和40年	昭和41年	昭和42年	昭和43年
	総人口	218,327	223,738	226,417	228,924	234,291
大分地区	135,746	140,812	146,078	148,719	153,604	156,145
大南地区	28,945	29,918	28,941	28,371	28,323	28,441
大植地区	17,948	17,620	16,182	16,365	16,401	16,526
大在地区	14,362	14,240	14,405	14,582	15,163	15,276
大坂ノ市地区	7,785	7,867	7,856	7,814	7,762	7,782
大坂ノ市地区	13,541	13,281	12,955	13,073	13,038	13,010

(注) 昭和40年は10月1日国勢調査による。
昭和43年は1月末現在、そのほかの年は9月末現在の
本市の「毎月末常住人口報告」による。

市営住宅及び一般建築状況

区別	市営住宅				建築費(千円)	一般建築(戸)
	総数(戸)	第1種	第2種	その他の市営住宅		
昭和38年度	60	18	42	-	36,598	2,730
39	40	10	30	-	31,318	2,980
40	60	22	38	-	50,660	3,670
41	60	24	36	-	53,767	4,510
42	108	35	65	8	109,559	4,750
小計	328	109	211	8	281,902	18,640
既建築戸数	1,226	601	467	158	-	-
合計	1,554	710	678	166	-	-
払下戸数	359	215	83	61	-	-
引当戸数	1,195	495	595	105	-	-

(注) 資料……市営住宅は建築課、一般分は大分土木事務所の建築確認申請による。



合併五周年記念行事

三月十日は新大分市が誕生して五周年を迎えます。この五周年に市民のみならず、本市に貢献した関係者の皆様を招いて、記念式典を行います。

市政五年間の主なできごと

- ### 昭和三十三年
- 一月一日 高崎山駐車場が完成し使用を開始した。
 - 大型バス百十台、普通車六十台を収容、工費一億四千七百円。
 - 一月十日 大分地区新産業都市が正式決定。
 - 四月十九日 高崎山公園客二千人入場。
 - 六月十日 市長、住宅都市計画国際会議に出席。
 - 八月十八日 大分市青少年センターを開設。
 - 九月十日 昭和電工と提携し、一尋埋立地昭和電工の進出。
- ### 昭和三十九年
- 六月十一日 大分地区の新産業都市指定が閣議で決定した。
 - 七月十五日 市機構改革を実施し、荷揚、中島、金池、春日大道校区の一部が旧町名から新町名に変更された。
 - 八月一日 光吉清水水場が一部竣工給水を開始した。
 - 九月九日 市営高崎山線送電事業完成。
 - 十一月九日 日豊線複線化工事の着工。
 - 大分、魚川間の日豊線複線化工事着工され、白崎、白木にトンネルが掘られることになった。
- ### 昭和四十年
- 一月二十七日 市議会議員の選挙六市町村合併により百十九名の市議会議員が合併後の選挙で四十四名となり、正常化された。
 - 四月一日 大分市開港五周年を記念して、市議会が合併後の選挙で四十四名となり、正常化された。
 - 四月一日 大分市開港五周年を記念して、市議会が合併後の選挙で四十四名となり、正常化された。
 - 四月一日 大分市開港五周年を記念して、市議会が合併後の選挙で四十四名となり、正常化された。
- ### 昭和四十一年
- 五月十一日 公民館が完成し、米良に二億二千万円を投じて、新しい公民館が完成した。
 - 七月七日 弁天大橋が完成し、弁天大橋の開通により臨海産業道路が整備され、大分国体にも貢献した。
 - 七月 市議会が議員教育費を教育委員会部門で全国で唯一市選された。
 - 七月 昭和電工石油化学コンビナートが正式認可。
 - 一尋埋立地に建設予定の石油化学コンビナートが正式に認可され、昭和四十二年操業開始の目途がついた。
 - 九月 台風十九号により被害が出た。家屋の全半壊、床上、床下浸水の被害があり、また光吉清水水場が浸水し、市内全域にわたって断水がわかった。
 - 十月一日 城址公園が整備され、第一回お城まつりがあった。
 - 十月十一日 金池、末広道橋が完成。
- ### 昭和四十二年
- 五月十日 九州電力大分火力発電所が竣工、総工費百十四億円。
 - 八月一日 東洋臨海と提携し、東洋臨海大分工場協賛計画に調印され、坂ノ市に建設が完了し、近づくこととなった。
 - 八月十六日 大分石油化学コンビナートが竣工。
 - 一尋埋立地に工費四百九十五億円をかけて昭和グループ五社が、工場建設に着手した。
 - 八月、七年来の大雪が発生し、七月下旬から十月まで降雨が少なく、農作物に約四億四千万円の被害を出した。
 - 九月九日 中央通り地下橋脚が完成。
 - 九月十日 初の地下橋脚が工費三千四百万円を投じて完成した。
 - 十月一日 日豊線複線化により特急電車が運行開始。
 - 十月六日 大分生活文化センターが完成し、各種催しが開かれ、七十万人の観客にわった。
 - 十月十八日、しんり地埋設工事に着手。
 - 工費一億三千万円を投じて、十万人分のしんり地埋設能力を有する埋設場の増設工事ははじまった。完成は昭和四十五年三月末日。
 - 十一月十七日 大分市が総合経営優良市として受賞。
 - 地方自治法施行十周年を記念して、自治大臣から表彰された。
 - 十二月十日 高崎山公園の建設がはじまる。
 - 水不足解消をめざす第三次水道拡張計画の一環として建設をはじめた。総工費十一億円。

◎交通災害共済加入申込み受付中
申込み自治委員、市企画課、支所市民課へどうぞ。

